

薬物療法のタイミングと処方の実際

1 経口血糖降下薬の種類(表1)

- 経口血糖降下薬の作用臓器は4つに大別される。
- これらはインスリン分泌促進系，インスリン抵抗性改善系，食後高血糖改善系の大きく3つのカテゴリーに分けられる。

表1 主な経口血糖降下薬の特徴(赤字は重要な副作用)

主な作用臓器と作用		種類	薬品名	主な副作用
膵 島	インスリン分泌の促進	スルホニル尿素薬	グリメピリド* (1, 3mg) グリベンクラミド* (1.25, 2.5mg) グリクラジド# (20, 40mg) トルブタミド# (250, 500mg) など	低血糖
	より速やかなインスリン分泌の促進・食後高血糖の改善	グリニド系薬 (速効型インスリン分泌促進薬)	ナテグリニド (30, 90mg) ミチグリニド (5, 10mg)	
小 腸	炭水化物の吸収遅延・食後高血糖の改善	α -グルコシダーゼ阻害薬	ボグリボース (0.2, 0.3mg) アカルボース (50, 100mg) ミグリトール (25, 50, 75mg)	肝障害 消化器症状(放屁・下痢・腹満・便秘) 低血糖増強
肝 臓	インスリン抵抗性の改善	ビグアナイド薬	メトホルミン (250mg) ブホルミン (50mg)	乳酸アシドーシス 胃腸障害 低血糖増強
脂肪組織	インスリン抵抗性の改善	チアゾリジン薬	ヒオグリタゾン (15, 30mg)	浮腫・心不全 肝障害 低血糖増強

インスリン分泌促進系

食後高血糖改善系

インスリン抵抗性改善系

*: 血糖降下作用が強い # : 血糖降下作用が中等度

薬品名	商品名	薬品名	商品名	薬品名	商品名
グリメピリド	アマリール	ナテグリニド	スターシス	メトホルミン	メルピン
グリベンクラミド	オイグルコン		ファスティック		グリコラン
	ダオニール	ミチグリニド	グルファスト		メデット
グリクラジド	グリミクロン	ボグリボース	ベイスン	ブホルミン	ジベトスB
トルブタミド	ラスチノン	アカルボース	グルコバイ	ヒオグリタゾン	アクトス
	ジアベン	ミグリトール	セイブル		